

神奈川県 産学連携事業「本の架け橋プロジェクト」御中

拝啓 早春の候、貴学ますますご発展のこととお慶び申し上げます。

この度は、JICA「世界の笑顔のために」プログラムを通じ、日本の絵本を送付して頂き、誠にありがとうございました。松谷みよ子さんの絵本をはじめ、相撲などモンゴルの子供たちにとっても身近で愛らしい絵本ばかりで、私自身も翻訳作業中とても癒されました。

申し遅れましたが私は、2015年11月からドルノゴビ県投資・開発政策計画課に観光隊員として派遣されておりますと申します。以下、ドルノゴビ県の紹介・中央図書館での贈呈式の報告をさせていただきます。

ドルノゴビ県は、モンゴルの南東部（東ゴビ砂漠）に位置しており、鉱山資源が豊富で、恐竜の化石発見やエネルギーセンター（パワースポット）のある地などで知られています。県章は、中央に恐竜・円周に14頭の駱駝（14の町を示す）をあしらったデザインです。交通は、ロシアと中国を結ぶ国際列車が通っている為、ウランバートルからは車やバス（6~7時間）だけでなく、電車（8~10時間）という選択肢もあり便利です。県庁所在地はサインシャンドです。県の人口は約63,000人で、3割の約20,000人がサインシャンドで生活しています。年間気温は、-25℃~35℃で、冬はウランバートルほど寒くありませんが、夏はとても暑い地域です。また地下水は豊富ですが、生活水は少ない地域です（川はありません）。主な産業は、鉱業・農牧業・サービス業で、今後は観光業にも力を入れようとしています。特産品は、乳製品・皮革製品・毛製品・ザガスカル茶（薬草、肝臓に良い）等です。当県は2011年から静岡県と姉妹都市になり、第5学校内に日本語の塾ができたこと、毎年青少年や県民の交流があるということもあり、日本を身近に感じている人が多いのを感じます。また「ゴビの人々は、タフで心が広い」と言われており、生活や活動など様々な形で助けてもらっている日々です。

主な観光地は、サインシャンドから車で45分位行ったところにあるエネルギーセンター一帯です。ここは、幼くして活仏に認定され、多彩な才能を持ったダンザンラブジャーという人物が発見した場所です。エネルギーセンターは、“罪を洗い落とし、心と体が綺麗になる”場所と言われており、国内だけでなく近年は海外からのお客様も増えているそうです。周辺には、僧侶達が108日間瞑想した洞窟群、女性のお祈りの為のムーム岩石、ハマリンヒード（僧院）、願いの黒い山などがあります。また県内のその他の場所では、奇岩や貴重な野生動物などを見ることができます。

次に、中央図書館（未成年対象、成人用の図書館は別にあり）についてです。市街地の大通りに位置しており、2階建てです。1階には事務所やパソコンルームがあり、2階には、児童用の図書室（絵本中心）と学生用の図書室（宿題や語学学習等）があります。蔵書数は

約 16,000 冊で、室内用（外国語書籍など）と貸出用の 2 種類があるそうです。貸出用の図書は、年間 1,000 トウグルグ（2017 年 3 月現在、日本円で約 50 円）で利用者カードを作り、その後 1 冊 300 トウグルグで 3 日間借りることができるそうです。児童用の図書室と書庫を見せてもらおうと、外国の絵本は、英語・ロシア語・中国語・韓国語の絵本がありました。

先日、15 冊の絵本（贈呈品の表示を添付済）を中央図書館長にお渡ししました。贈呈式の後には、日本語がわかるモンゴル人の友人と共に、モンゴル語訳した 3 冊の絵本を使用し読み聞かせ会を行いました。当日は、第 3 幼稚園の園児（5, 6 歳）が 20 名位来てくれました。絵本は隊員が日本語で読んだ後、友人がモンゴル語で読みました。

「がたん ごとん がたん ごとん」という絵本は、何度も電車の走る音が出てくるのですが、モンゴルの音と違うにも関わらず、途中から子供たちが日本語で「… ごとん がたん ごとん」と復唱してくれるほどでした。「いない いない ばあ」という絵本は、子供たちと一緒に「いない いない ばあ」をしました。友人が、子供たちが目を開けた時「どんな動物がいるかなー？」と問いかけると「狐！」「ねずみ！」「牛？」などと様々な反応を示してくれました。「チューチューこいぬ」という絵本では、「おっばいはでません」というフレーズがよくでてくるのですが、友人が「山はおっばいはでる？」と子供たちに問いかけると「出ない！」と口々に反応してくれました。


その後、全 15 冊を子供たちに渡しました。すると日本語だけの絵本があるにも関わらず、「これはテントウムシ！花もある！」と、自分で動物や身近なものを見つけて楽しんでくれているようでした。そのような絵本を選んで頂いたことも大変感謝しております。

終了後はスタッフがすぐ、中央図書館のフェイスブックのページに会の様子をアップしてくれました。今後は、残りの絵本をモンゴル語訳するとともに、引き続き読み聞かせ会を開催したいと思っております。また館長は翻訳された絵本を使って、小学校高学年の生徒が日本語を学ぶ機会に使いたいと申ししておりました。これからもより多くの子供たちが、日本の絵本に触れることができる機会を作りたいと思います。

本当にどうもありがとうございました。

敬具

平成 29 年 3 月末日

青年海外協力隊 2015 年度 2 次隊 ドルノゴビ県 観光隊員 

追伸:図書館からの礼状（日本語訳）とサインシャンド・中央図書館の写真を添付致します。

【中央図書館からの礼状：モンゴル語】

КАНАГАВА их сургуулийн хамт олонд


Манай уншигч багачуудын боловсролд нэмэр хандив болох сайн үйлс дэлгэрүүлэн ном хандивласан Японы КАНАГАВА их сургуулнау хамт олонд талархалаа илэрхийлж байна. Япон хэл сурах хүсэл сонирхолтой сурагчдад эдгээр номыг гарын авлага болгон хэрэглүүлэх болно. Одоогоор 30 гаруй сурагч номыг сонирхон үзээд байна. Цаашид ирээдүйн боловсон хүчнийг бэлтгэх оюуны олон талт хөрөнгө оруулалттай хамтран ажиллах хүсэлтэй байна. Номын цагаан буян дэлгэрэх болтугай.

Төв номын сангийн эрхлэгч 

【中央図書館からの礼状：日本語訳】

神奈川大学の皆様

私たちの図書館の利用者である青少年の教育において、本を寄付するという素晴らしい行動をして下さった日本の神奈川大学の皆様に感謝の意を表明します。日本語を習いたいと思っている子供達は、これらの本が参考書になり使用すると思います。現在30名以上の子供達が、これらの本を面白いと思って見ました。今後、子供たちの教育（図書館に必要な備品やサービス）のために、日本と協力したいと思います。私たちは今回、貴学と協力できて本当に幸せです。

中央図書館 館長 

【中央図書館】



中央図書館の外観



図書館長へ絵本の贈呈



読み聞かせ会（日本語が話せるモンゴル人の友人と隊員で実施）

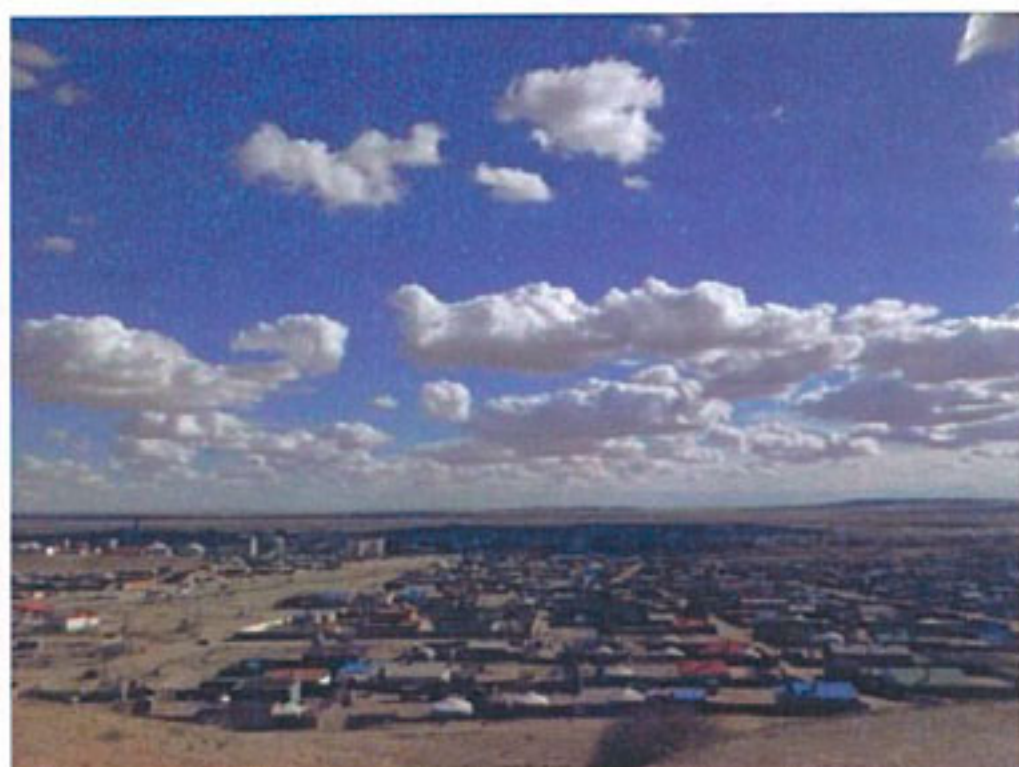


読み聞かせ会后、絵本の閲覧①（幼稚園教諭と絵本を見ている子供たち）



読み聞かせ会后、絵本の閲覧②（自分で絵本を見ている子供たち）

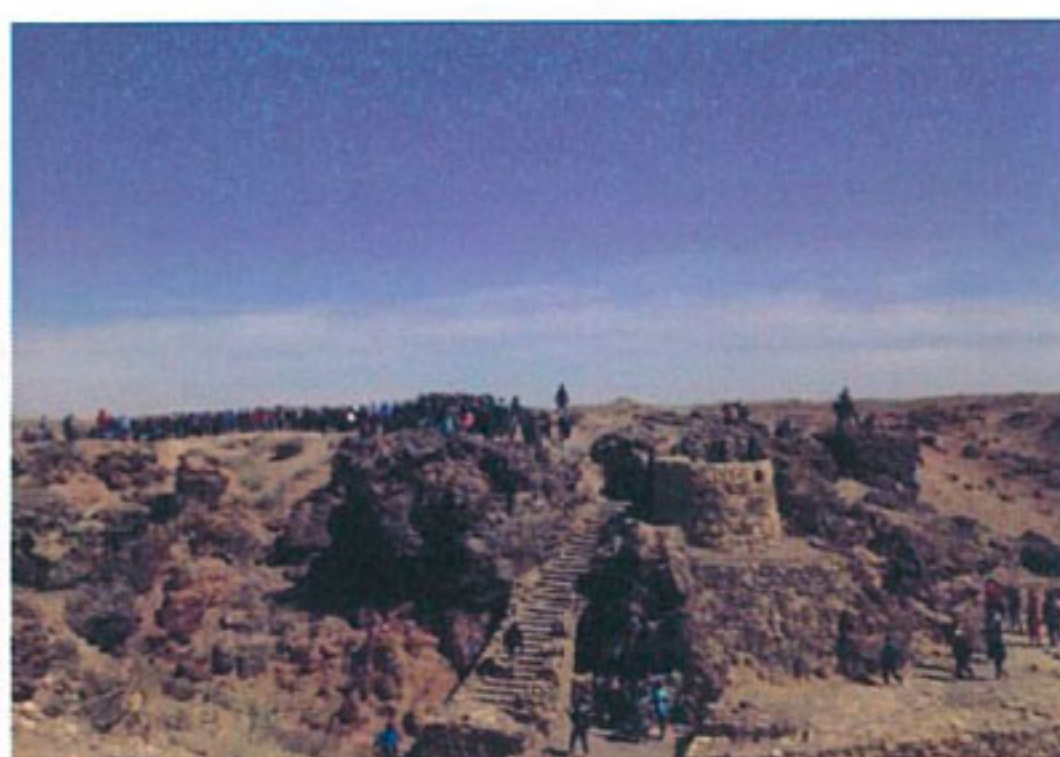
【ドルノゴビ県サインシャンド】



丘から見たサインシャンドの中心部



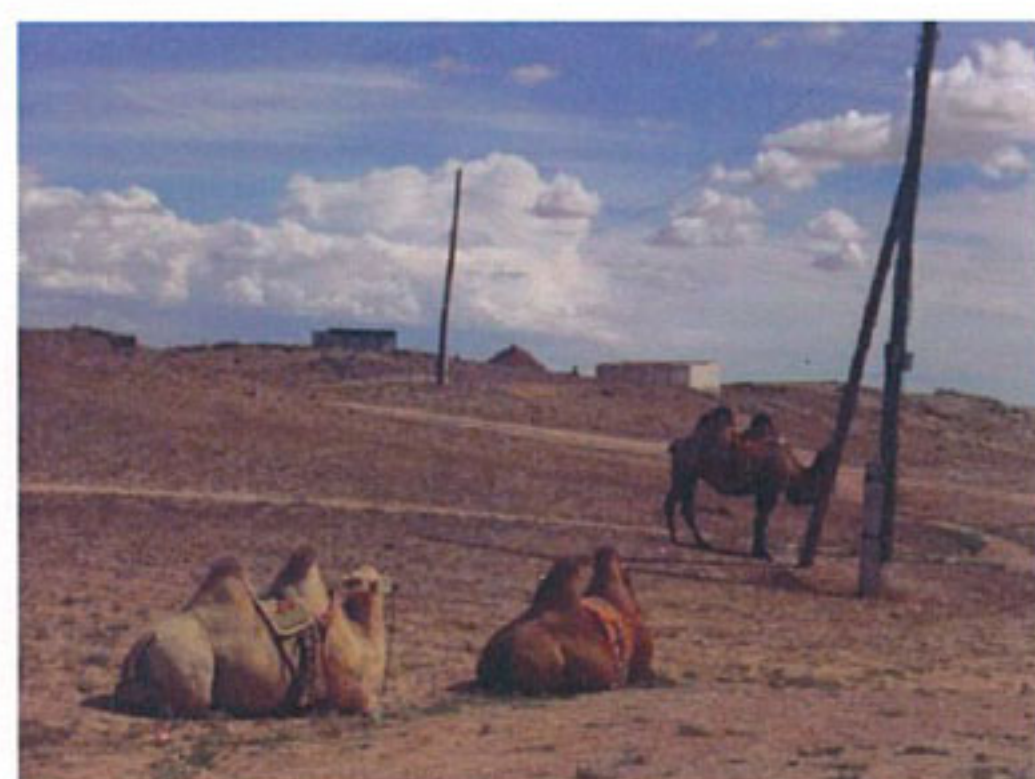
モンゴル国内でもおいしいと評判の
ゴビのホーショール



瞑想洞窟を巡る人々（長蛇の列になって
いるのは、“生まれ変わりの洞窟”です）



エネルギーセンター（パワースポット）



駱駝に乗る体験もできます。